

MS341-58039/40

GRフロントスポイラー

取付・取扱要領書

この度はGRフロントスポイラーをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本書は本商品の取り付け、取り扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取り付け前に必ずお読みのうえ、正しい取り付け、取り扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

★ 本商品は登録後架装を前提としています。

■ 品番・適合車種

品 番	塗装色	適合車種	備 考
MS341-58039-A0	プラチナホワイトパールマイカ(089)	ヴェルファイア	
MS341-58039-C0	ブラック(202)		
MS341-58039-C2	ニュートラルブラック(229)		
MS341-58040-NP	未塗装品		

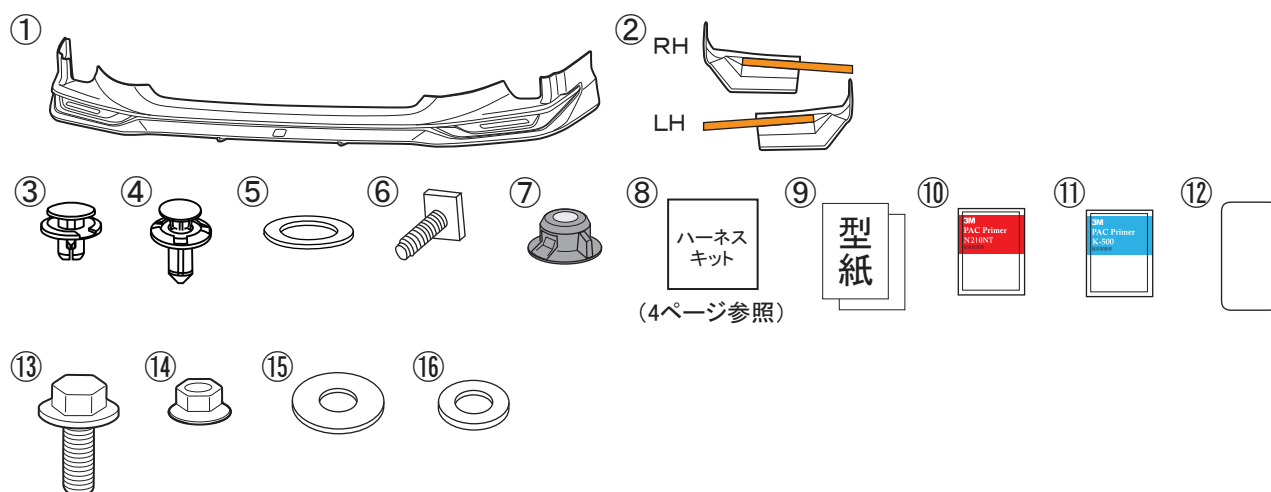
・最新の適合情報は TRD カタログサイトをご覧ください。 <https://www.trdparts.jp/>

■ 構成部品

No.	品 名	品 番	個数	備考
①	フロントスポイラー		1	
②	リテーナー (RH/LH)		各1	
③	クリップA		2	短い
④	クリップB		2	長い
⑤	樹脂ワッシャー		2	t=0.5 内径11 外径20
⑥	スクエアヘッドボルト		2	
⑦	クリップナット		2	
⑧	ハーネスキット		1	
⑨	型紙A、B、C、D		2	
⑩	PAC プライマー (赤袋)	08867-00250	1	N210NT
⑪	PAC プライマー (青袋)	08867-00230	1	K-500
⑫	シム		1	t=1.0
⑬	フランジボルト		2	M8×23
⑭	フランジナット		2	M8
⑮	ワッシャーA		2	t=1.6 内径8.5 外径28
⑯	ワッシャーB		4	t=1.6 内径8.5 外径18

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図



■ 構成部品

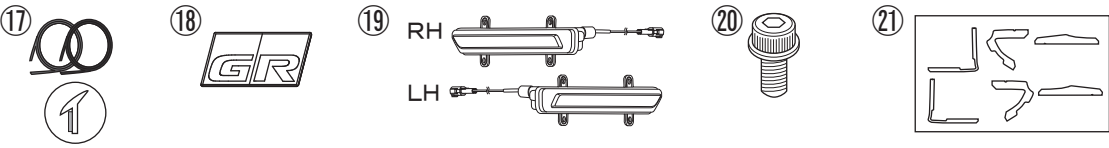
以下、MS341-58040-NP（未塗装品セット）のみに同梱

No.	品 名	個数	備考
⑰	モール（イ型）	3	黒：L=600×2 ライトグレー：L=1100×1
⑱	エンブレム	1	
⑲	LEDランプ（RH/LH）	各1	
⑳	キャップボルト	8	3×8
㉑	マスキングテープA、B、C（RH/LH）	各1	

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図

以下、MS341-58040-NP（未塗装品セット）のみに同梱



⑰モール推奨使用色

塗装色（色記号）	モール色
プラチナホワイトパールマイカ（089）	ライトグレー
ブラック（202）	ブラック
ニュートラルブラック（229）	ブラック
プレシャスメタル（1L5）	ブラック

⑧ハーネスキット

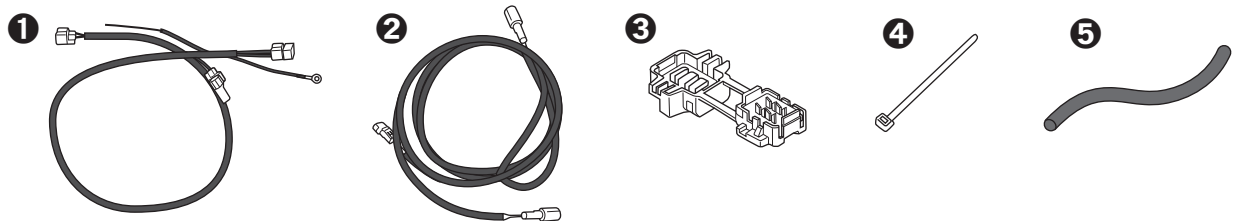
■ ⑧ハーネスキット構成部品一覧

No.	品 名	個数	備考
①	ハーネスA	1	エンジンルーム用
②	ハーネスB	1	バンパー裏側用
③	エレクトロタップ	1	
④	結束バンド	28	L=150
⑤	コルゲートチューブ	2	φ5 L=170

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

※上記品番は補給品版ではありません。LEDランプの単品補給はありません。

■ 構成部品図



取り付け上のご注意（取り付け作業の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行ってください。



警告

この内容に従わず、誤った取り付け・取り扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取り付け・取り扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

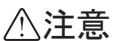
❌ やってはいけないこと

⚠️ 必ず行なっていただくこと



警告

- ❌ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。
- ⚠️ 本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ⚠️ 取り付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが足りないと脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。



注意

- ⚠️ 本商品を取り付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ⚠️ 本商品の取り付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取り扱いを行ない、同時に取り付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取り付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について(別添の脱脂作業要領も参考になしてください。)

- ⚠️❌ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール(IPA)を使用し、記載以外の溶剤は絶対に使用しないでください。
- ❌ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- ⚠️ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❌ 両面テープは一度貼り付けてから剥がれますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ❌ 本商品の両面テープは、環境温度が15℃未満の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足りないと両面テープが剥がれます。
- ⚠️ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が足りないと両面テープが剥がれます。
- ❌ 本商品の取り付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

未塗装品の塗装作業について

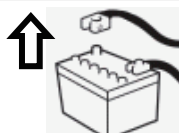
- ⚠️ 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。
- ⚠️ 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。
- ⚠️ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高いと変形やひび割れを起こしますので70℃以下で乾燥させてください。

取り付けが終わったら

- ⚠️ 取り付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ⚠️ 作業でバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
- ⚠️ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

LEDランプ配線取り付け上の注意事項

- ❗ ビニールテープをご使用の際は、必ず難燃性の耐熱ビニールテープを使用してください。
推奨品：V9650-0484（耐熱ビニールテープ・灰色）
- ❗ バッテリー復元作業後は、機能部品に初期化や調整が必要な場合があります。
取り付け作業後は必ず該当車両の修理書に従い、初期化・調整作業の有無をご確認ください。
- ❗ エンジンルーム内、ラジエータキャップ付近に配線を通したり、部品を取り付ける際、腕等がラジエータキャップに接触しやすく、上着など着用している場合にラジエータキャップが緩んだことに気づけない場合があります。ラジエータキャップと接触し緩んだ場合、オーバーヒートに繋がる可能性があります。ラジエータキャップに限らず、用品取付作業後には作業部位周辺に異常がないかご注意ください。



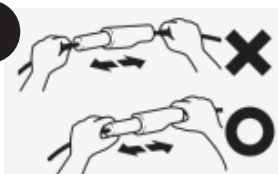
取り付ける前に

- ・作業前に、必ずバッテリーの⊖側ケーブルをはずす。



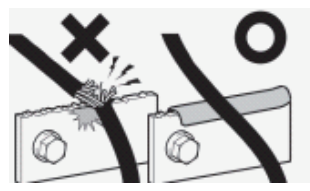
部品を取り付ける際は

- ・部品サイズにあった工具を使用する。
- ・部品の裏側に注意して、配線の噛み込みやビスの接触、断線に十分に注意する。

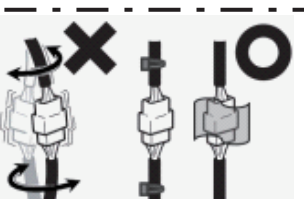


配線の取りまわしは

- ・コネクターは必ず本体を持ってはずし、配線は引っ張らない。
- ・バリ・エッジ部は、ガムテープ等で保護をする。



- ・コネクターは「カチッ」と、音がするまで確実に接続して、配線は無理なチカラで引っ張らない。



配線のクランプは

- ・結束バンドは配線が動かない程度に締めて、締めすぎない。
- ・結束バンドの余った部分は、エッジにならないようにカットする。
- ・カットした末端が、ほかの配線と接触しないようにする。
- ・コネクターが振動により異音がないように、確実に固定する。



注意



バッテリー接続中に作業を行なう際は、エアバックセンサー等に衝撃を与えないように十分に注意して作業を行なってください。

■ 目次

1. 表紙、品番・適合車種、構成部品、構成部品図	1～4
2. 取付上のご注意（取付作業の方へ）	5
3. LEDランプ配線取り付け上の注意事項	6
4. 目次、取り付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、取付構成図	7
5. 取付準備、取付要領	8～21
6. 取付完了後の点検・注意事項	21
7. 未塗装品の取り扱いについて	22～24
8. 補修キット両面テープ貼り付け	25
9. 配線図	25

■ 取り付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・ 一般工具
- ・ 加工用工具（ハサミ・カッター等）・ヤスリ・エアソー
- ・ 電動ドリル（刃：3.0mm/6.0mm/10.0mm）
- ・ 軍手・保護メガネ・保護シート・保護テープ・マスキングテープ・ビニールテープ（耐熱）
- ・ イソプロピルアルコール（IPA）・清潔なウエス

■ 保証について

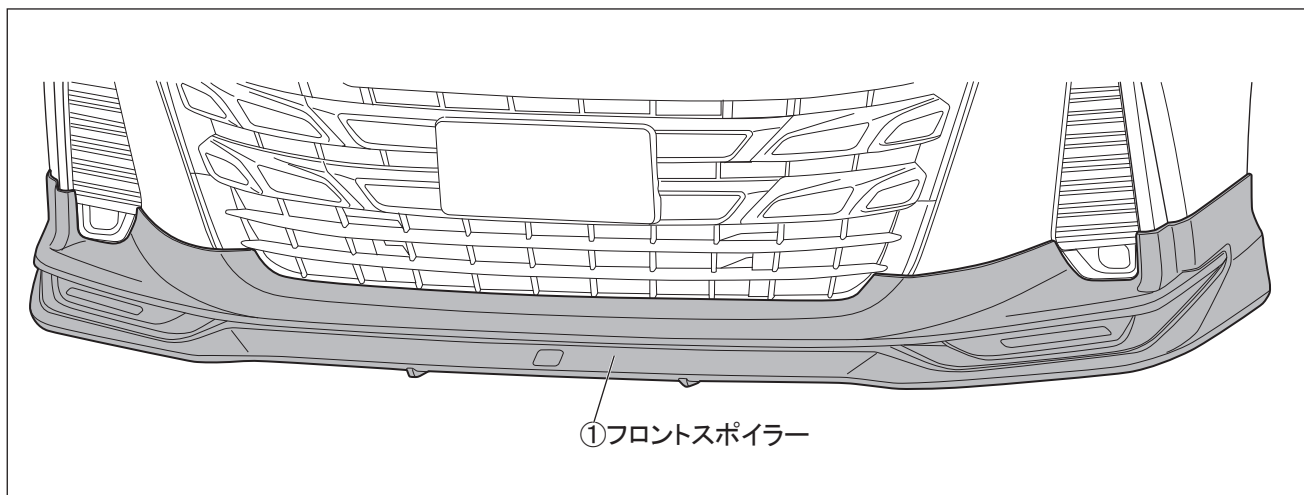
本商品は、1年・20,000kmの保証を実施致します。

（1年または20,000km走行時点のいずれか早い方まで）

※保証の詳細は TRD パーツカタログサイト<<https://www.trdparts.jp/>>

「保証について」をご覧ください。

■ 取付構成図



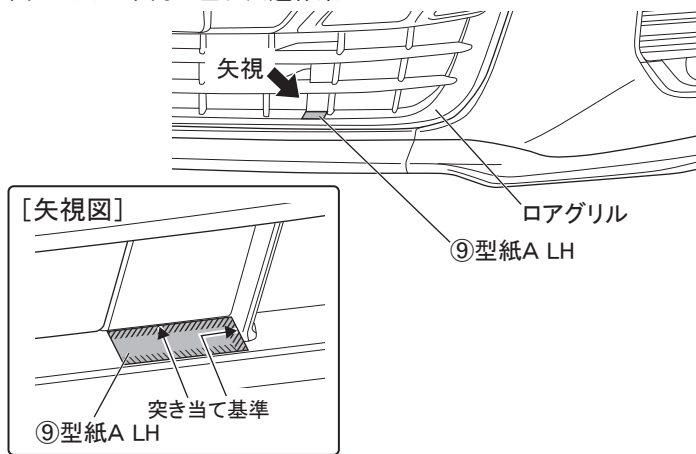
■ 取付準備、取付要領

※本製品とフロントグリルキット（オプション）、シグネチャーイルミブレード（オプション）を同時装着する場合は、フロントグリルキット、シグネチャーイルミブレード、本製品の順で取り付けてください。

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

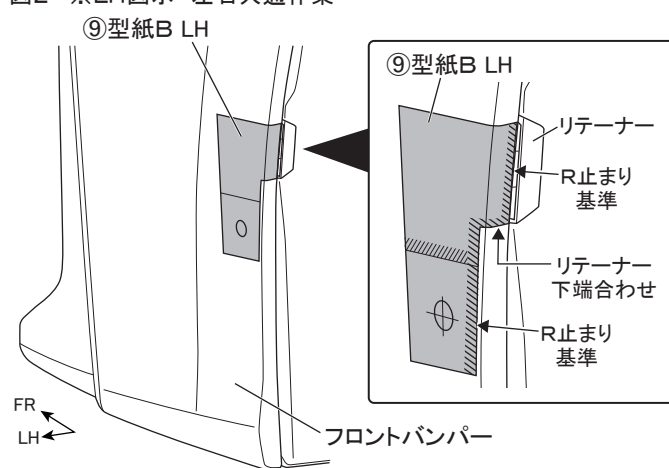
□ フロントスポイラー取付準備

図1 ※LH図示 左右共通作業



1. 図1のようにロアグリルに⑨型紙Aを貼り付ける。（左右各1箇所）

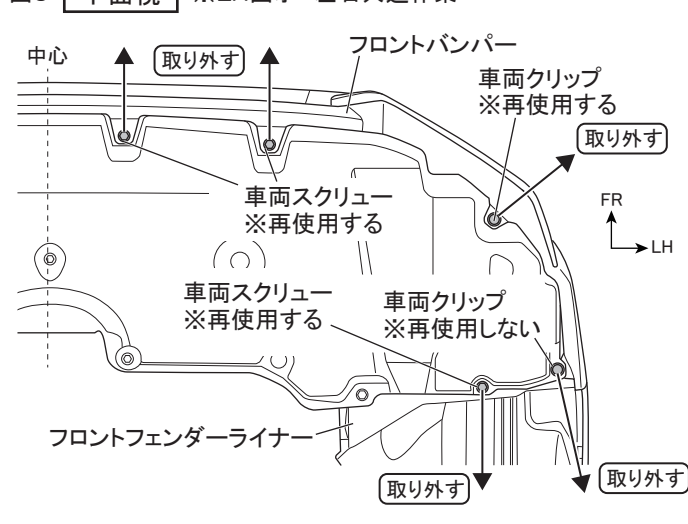
図2 ※LH図示 左右共通作業



2. 図2のようにフロントバンパー側面に⑨型紙Bを貼り付ける。（左右各1箇所）

△注意：台紙から⑨型紙Bを剥がす際、ミシン目でちぎれないよう注意してください。ちぎれてしまった際は、マスキングテープ等で貼り付けて使用してください。

図3 下面視 ※LH図示 左右共通作業

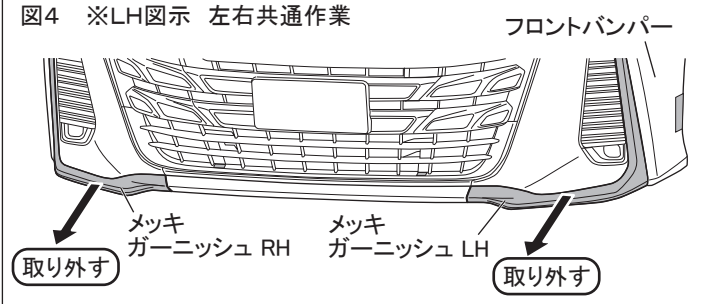


3. 該当車両の修理書に従い、車両からフロントバンパーを取り外し、フロントフェンダーライナー下面の車両スクリュー（左右各1箇所）を取り外す。

△注意：取り外した車両部品、車両スクリューは再使用しますので、無くさないように必ず保管してください。

△注意：フロントバンパー下面左右の取り外した車両クリップは再使用しません。

図4 ※LH図示 左右共通作業

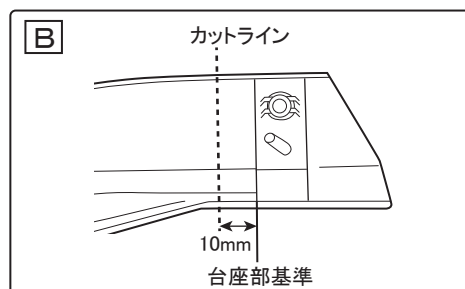
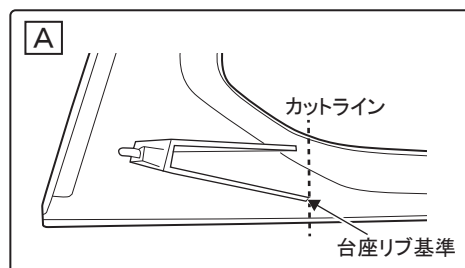
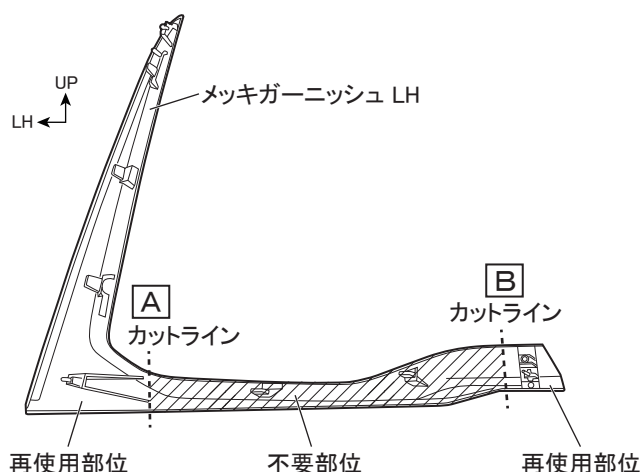


4. 図4のように該当車両の修理書に従い、フロントバンパーからメッキガーニッシュ RH/LH を取り外す。(左右各1箇所)

△注意：取り外した車両部品、車両スクルー、再使用しますので、無くさないように必ず保管してください。

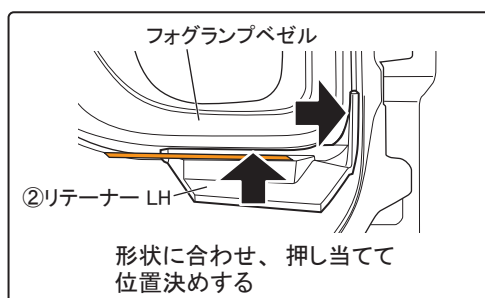
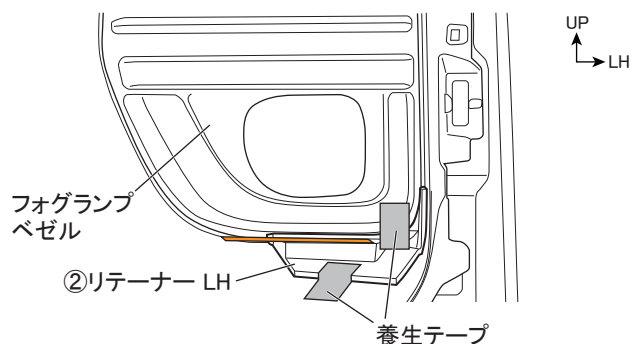
5. 図5のようにメッキガーニッシュ RH/LH を図示寸法および裏面の形状に合わせて下図斜線部を切除加工する。(左右各2箇所)

図5 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



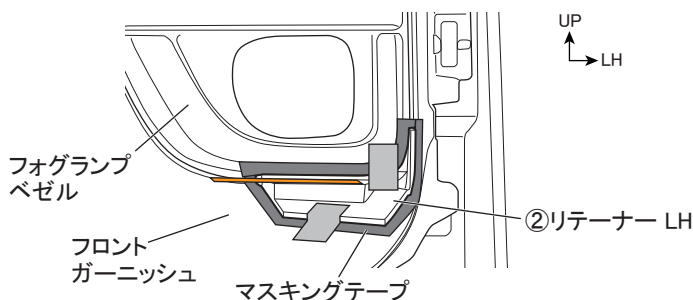
6. 切除部周囲のバリを除去する。(左右各2箇所)

図6 ※LH図示 左右共通作業



7. 図6のように②リテーナーをフォグランプベゼル下部の形状に合わせて突き当てて位置決めし、養生テープで仮固定する。(左右各1箇所)

図7 ※LH図示 左右共通作業

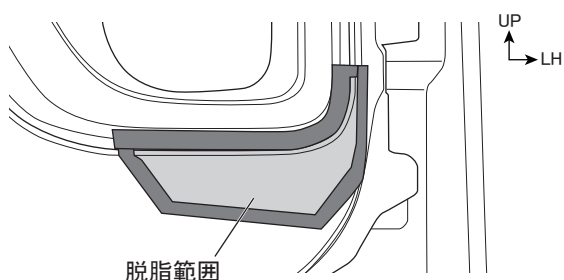


8. 図7のように②リテーナー周囲端末に合わせてフロントガーニッシュおよびフォグランプベゼルにマスキングテープを貼り付ける。

△注意：PACプライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確な位置出し、マスキングを行ってください。

9. ②リテーナーを取り外す。（左右各1箇所）

図8 ※LH図示 左右共通作業

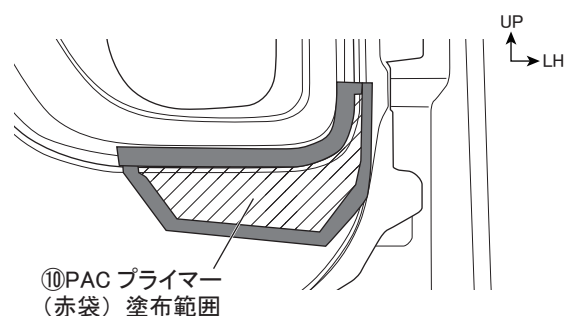


10. 図8のように②リテーナーの両面テープ貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール（IPA）で一方方向に拭いて脱脂する。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

図9 ※LH図示 左右共通作業



11. 図9のように②リテーナーの両面テープ貼り付け部（左図斜線部）に⑩PAC プライマー（赤袋）を塗布する。

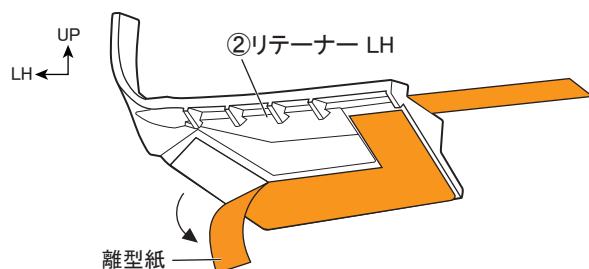
△注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール（IPA）で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

△注意：⑩PAC プライマー（赤袋）は本製品取り付け時に再使用します。揮発性が高いので速やかに袋に戻し、揮発を抑えてください。

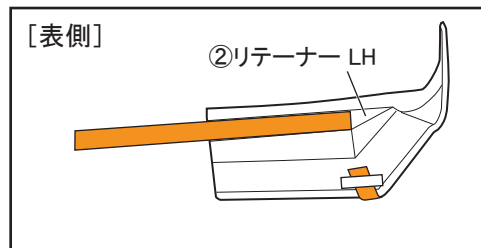
12. マスキングテープを剥がす。

13. 図10のように②リテーナー裏側の両面テープの離型紙を矢印の方向に約30mm 剥がしてマスキングテープ等で表側に貼り付ける。（左右各1箇所）

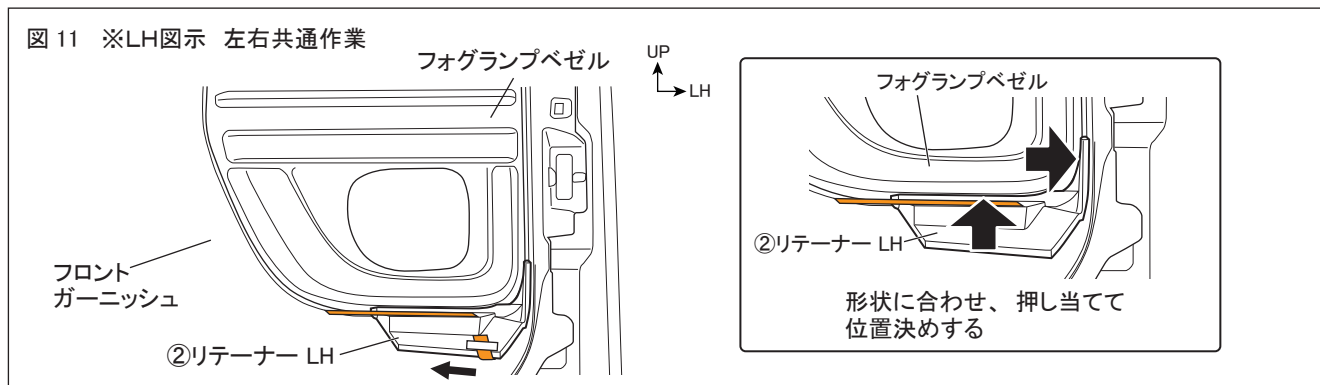
図10 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



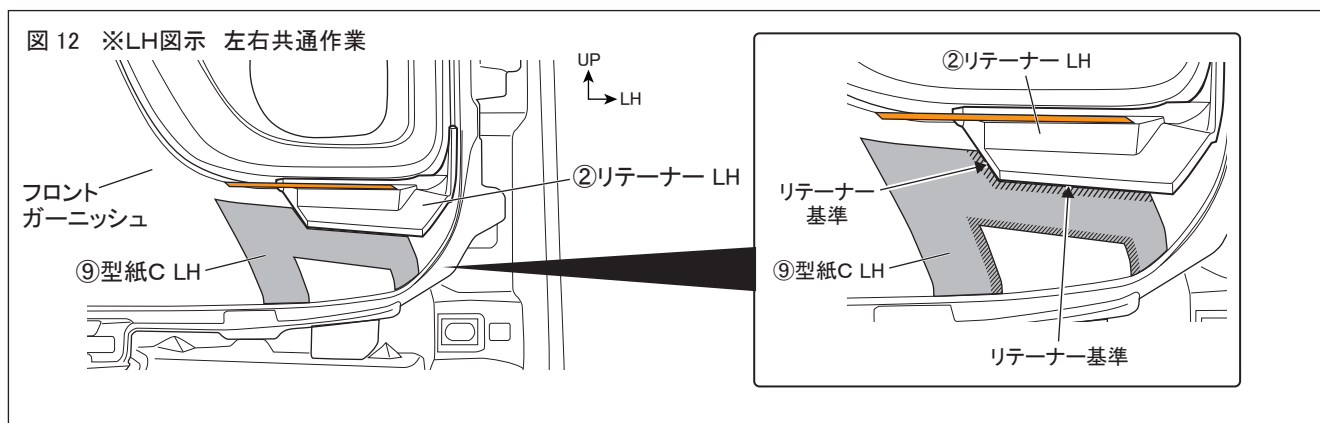
[表側]



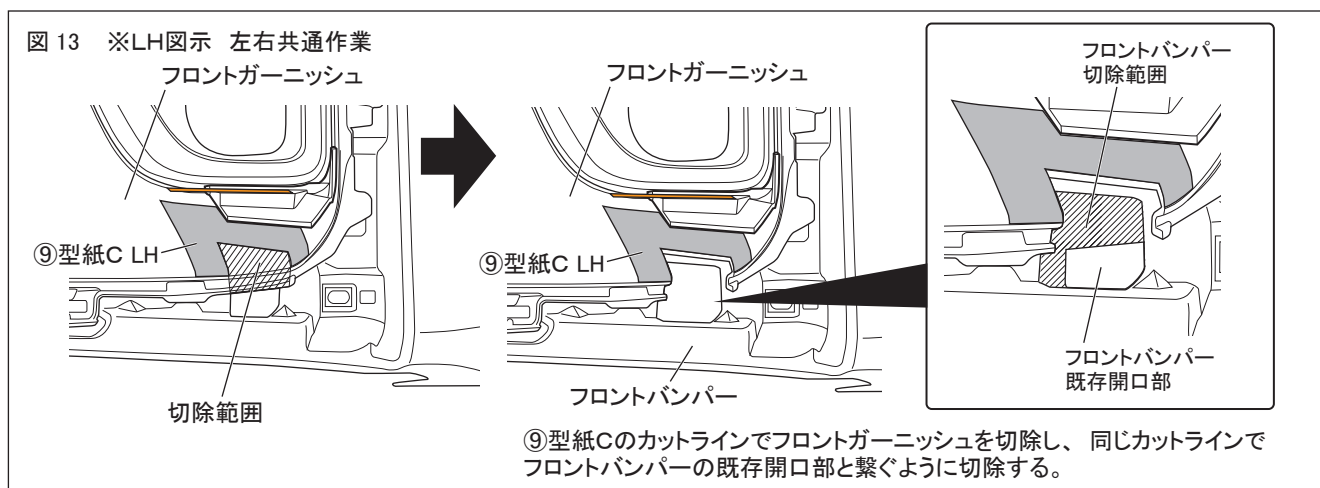
14. 図 11 のように②リテーナーをフォグランプベゼル下部の形状に合わせて突き当てて位置決めし、両面テープの離型紙を矢印の方向へ剥がしながら貼り付け圧着する。(左右各1箇所)



15. 図 12 のように②リテーナー基準でフロントガーニッシュに⑨型紙Cを貼り付ける。(左右各1箇所)



16. 図 13 のように⑨型紙Cのカットラインに合わせて下図斜線部を切除加工する。(左右各1箇所)
その際にフロントバンパーをフロントガーニッシュと同じカットラインで切除加工する。



17. ⑨型紙Cを剥がし、切除部周囲のバリを除去する。

18. 図 14 のようにフロントバンパー下面に⑨型紙Dを貼り付ける。(左右各1箇所)

図 14 下面視 ※LH図示 左右共通作業

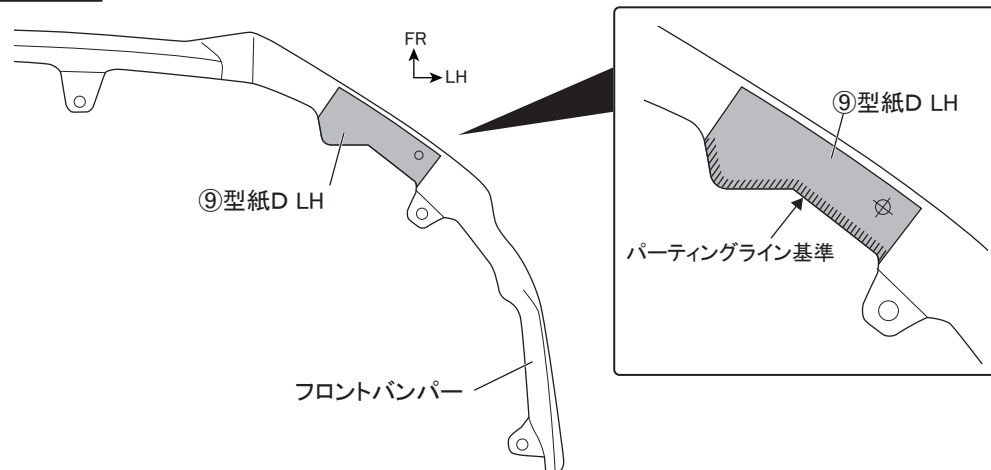
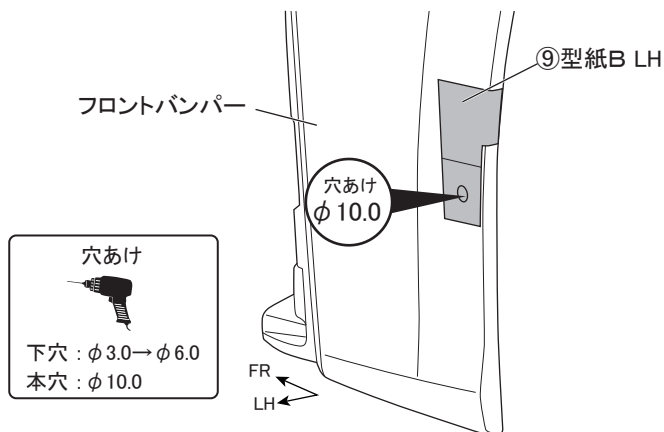


図 15 ※LH図示 左右共通作業

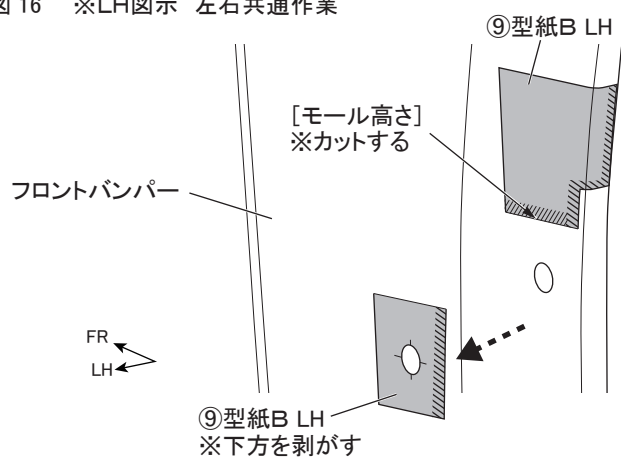


19. 図 15 のようにフロントバンパー側面の⑨型紙Bの穴あけ位置に合わせて下穴をφ3.0→φ6.0の順であけ、φ10.0の本穴をあける。(左右各1箇所)

👉 アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

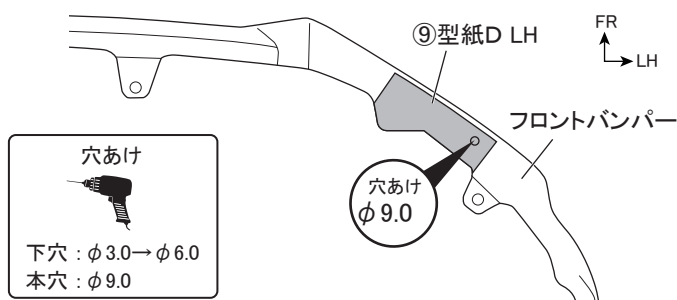
⚠ 注意：作業時は保護メガネを着用してください。

図 16 ※LH図示 左右共通作業



20. 図 16 のようにフロントバンパーの⑨型紙Bのモール高さを残して下方を剥がし、加工穴周囲のバリを除去する。(左右各1箇所)

図 17 下面視 ※LH図示 左右共通作業



21. 図 17 のようにフロントバンパー下面の⑨型紙Dの穴あけ位置に合わせて下穴をφ3.0→φ6.0の順であけ、φ9.0の本穴をあける。
(左右各1箇所)

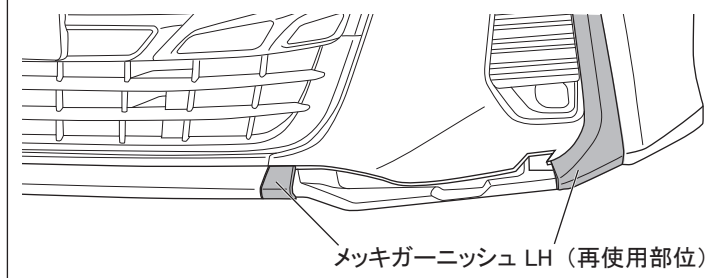
👉 アドバイス: 穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

⚠ 注意: 作業時は保護メガネを着用してください。

22. ⑨型紙Dを剥がし、加工穴周囲のバリを除去する。
(左右各1箇所)

23. 図 18 のように該当車両の修理書に従い、フロントバンパーにメッキガーニッシュ RH/LH を取り付ける。
(再使用部位 左右各2箇所)

図 18 ※LH図示 左右共通作業



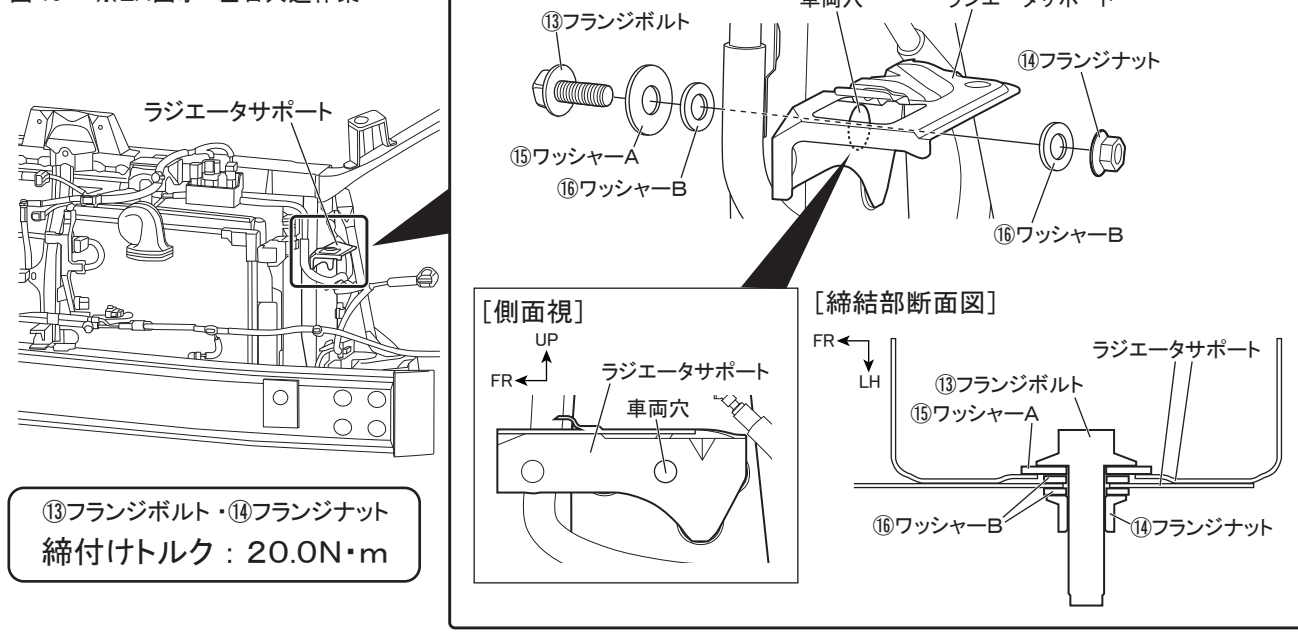
□補強部品取付要領

1. 該当車両の修理書に従い、車両から左右のヘッドライトを取り外す。

⚠ 注意: 取り外した車両部品は再使用しますので、無くさないように必ず保管してください。

2. 図 19 のようにラジエータサポートの車両穴に⑬フランジボルト、⑮ワッシャーA、⑯ワッシャーB、⑭フランジナットを仮締めし、ガタつき等がないことを確認して指定トルクで本締めする。(左右各1箇所)

図 19 ※LH図示 左右共通作業



3. 該当車両の修理書に従い、左右のヘッドライトを復元する。

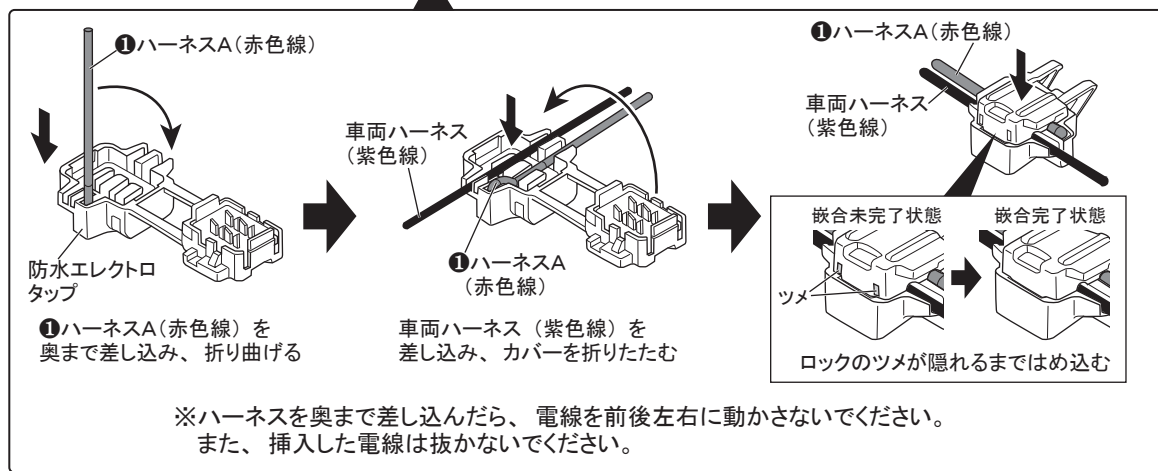
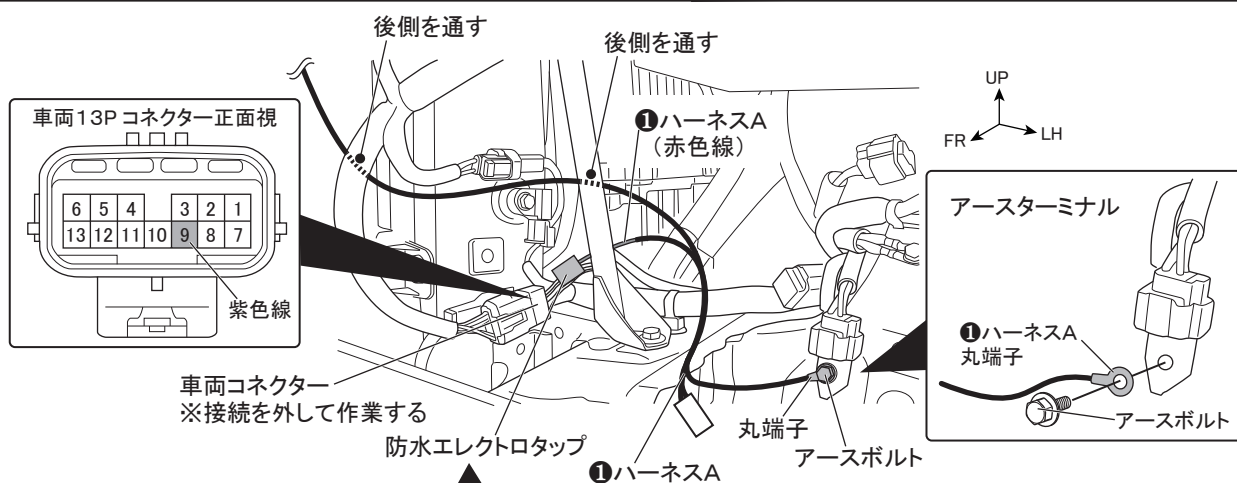
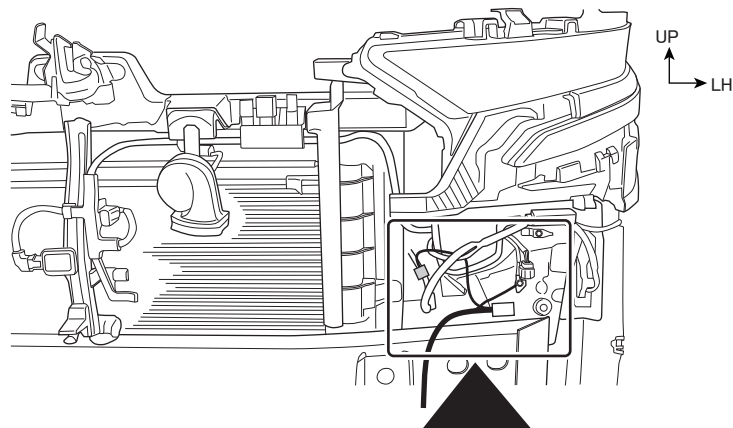
□LEDランプ配線作業

※シグネチャーイルミブレード（オプション）装着車は、16 ページ【配線作業 -3】に進んでください。

【配線作業 -1】 【重要】ラジエータキャップのゆるみに注意してください。

1. バッテリーのマイナス端子を取り外す。
2. 図 20 のようにエンジンルーム前側に①ハーネスAを仮配策し、図示車両13P コネクターの接続を外し、コルゲートチューブを約 50mm カットして車両ハーネス紫色線に①ハーネスAの赤色線を③エレクトロタップで接続する。（1箇所）
※エレクトロタップは、コネクター端から約 20mm あけて取り付ける。
エレクトロタップ単体にビニールテープを巻いた後、カットしたコルゲートチューブまでビニールテープを巻き付ける。
3. 図 20 のように図示アースターミナルに車両アースボルトで①ハーネスAの丸端子を取り付ける。（1箇所）
アースボルトは指定トルクで本締めする。【車両アースボルト締め付けトルク：10N・m】

図 20



【点灯確認】

1. エンジンルーム側の①ハーネスAの2P 黒色コネクタと②ハーネスBの2P 黒色コネクタを接続する。
2. ①フロントスポイラーのLEDランプハーネスのコネクタと②ハーネスBのコネクタを接続する。（左右各1箇所）
3. バッテリーのマイナス端子を取り付け、イグニッション ON の状態にしてLEDランプの点灯確認を行う。
点灯確認後、イグニッションをOFFにしてバッテリーのマイナス端子を外す。
4. ①フロントスポイラーのLEDランプハーネスのコネクタと②ハーネスBのコネクタを取り外し、②ハーネスBのコネクタと①ハーネスAのコネクタを取り外す。

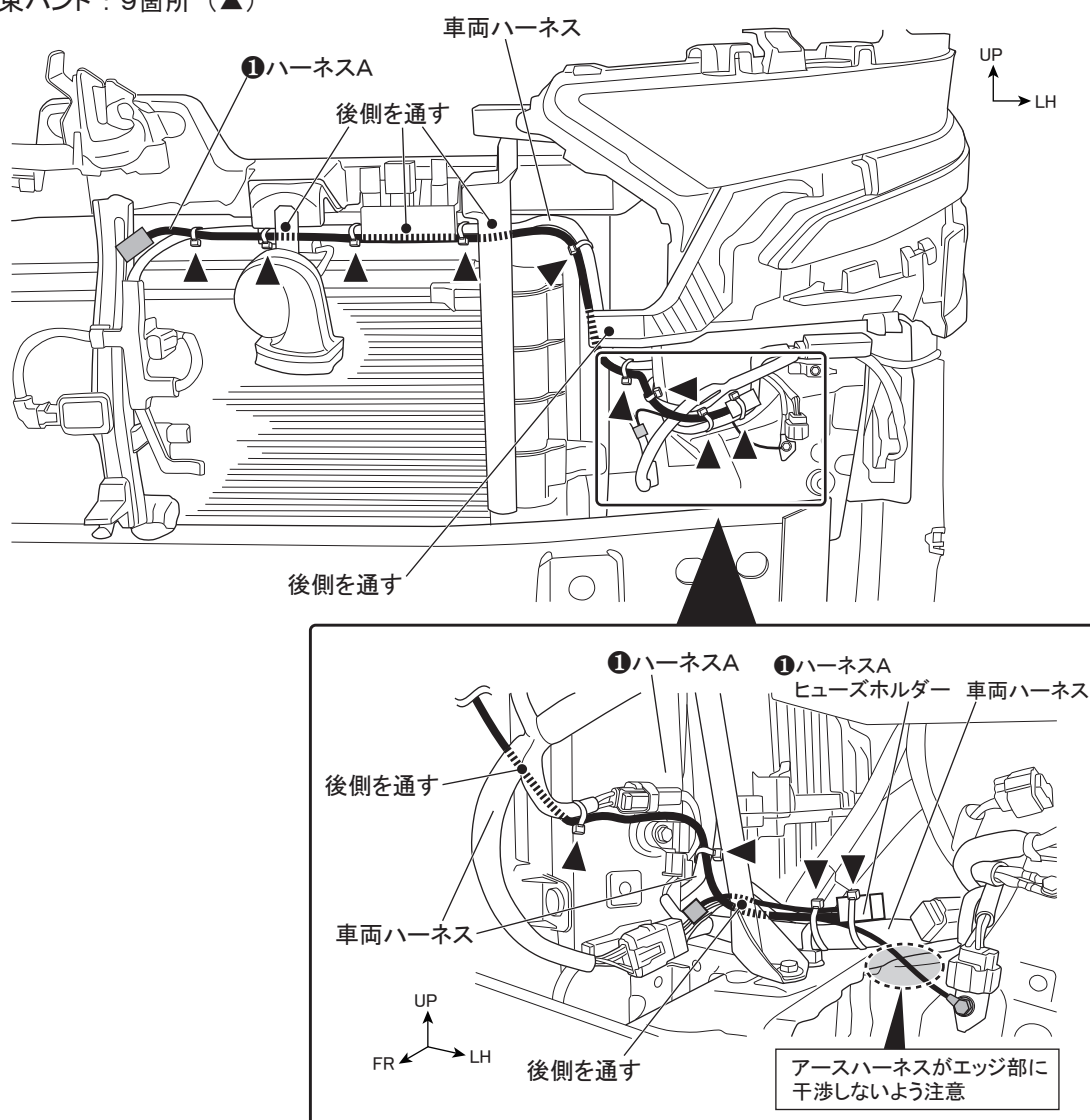
△注意：点灯確認の際、①フロントスポイラーおよび車体に傷をつけないようにしてください。

【配線作業 -2】 【重要】ラジエータキャップのゆるみに注意してください。

1. 図 21 のようにエンジンルーム前側に①ハーネスAを下図の順に配線し、余長を調整して④結束バンドで固定する。（9箇所）

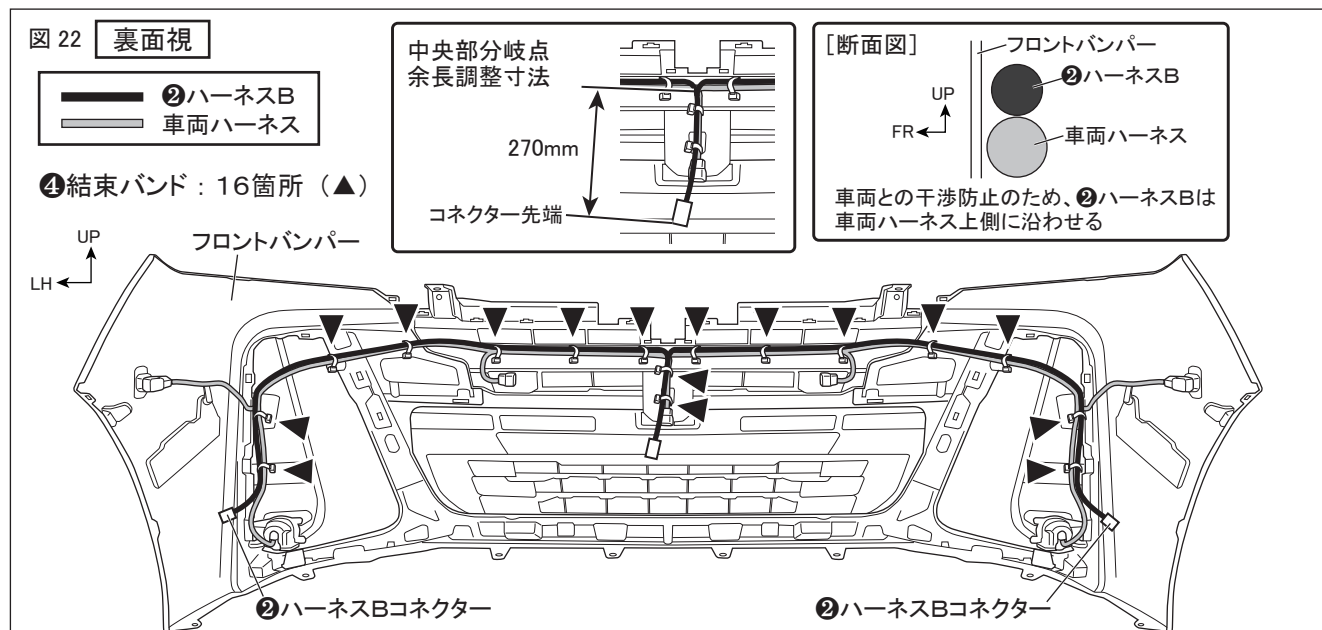
図 21

④結束バンド：9箇所（▲）

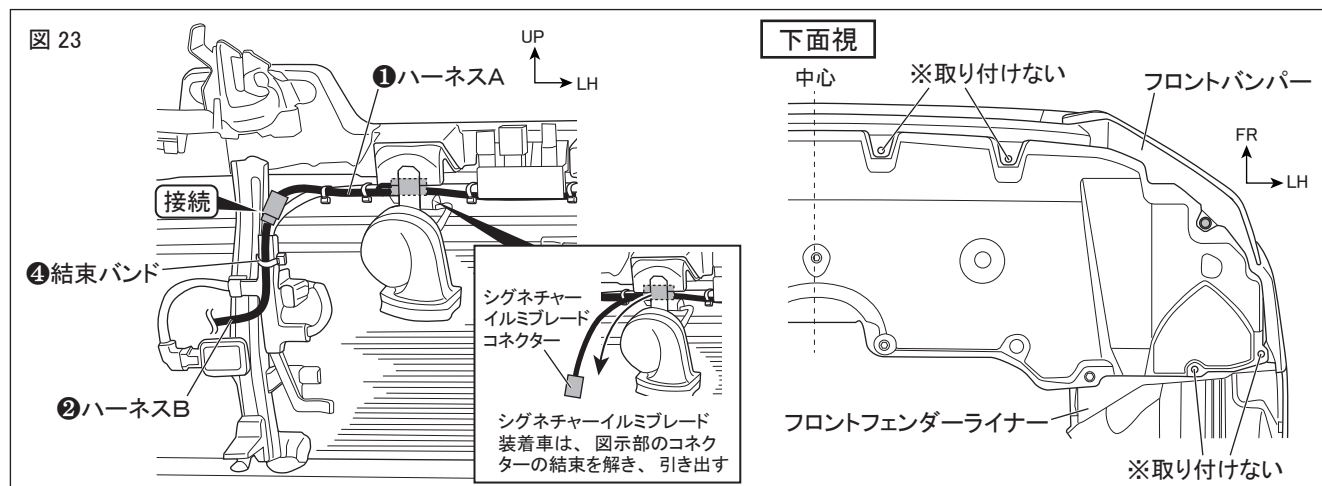


【配線作業 -3】 【重要】 ラジエータキャップのゆるみに注意してください。

1. 図 22 のようにフロントバンパー裏側の車両ハーネスに②ハーネスBを沿わせて配策し、④結束バンド（左右各16箇所）で固定する。



2. 図 23 のように車両前方にフロントバンパーを置き、①ハーネスAと②ハーネスBをコネクター接続して④結束バンドで固定する。（1箇所）
3. 図 23 のように該当車両の修理書に従いフロントバンパーを復元する。
※後の作業で下面からフロントバンパー裏側にアクセスするため、フロントバンパー下面図示車両スクリュー（左右各2箇所）およびフェンダーライナーは復元しないでください。



□フロントスポイラー取付要領

1. 図 24 のように①フロントスポイラーのLEDランプハーネスに⑤コルゲートチューブを通してビニールテープで巻き、固定する。（左右各1箇所）

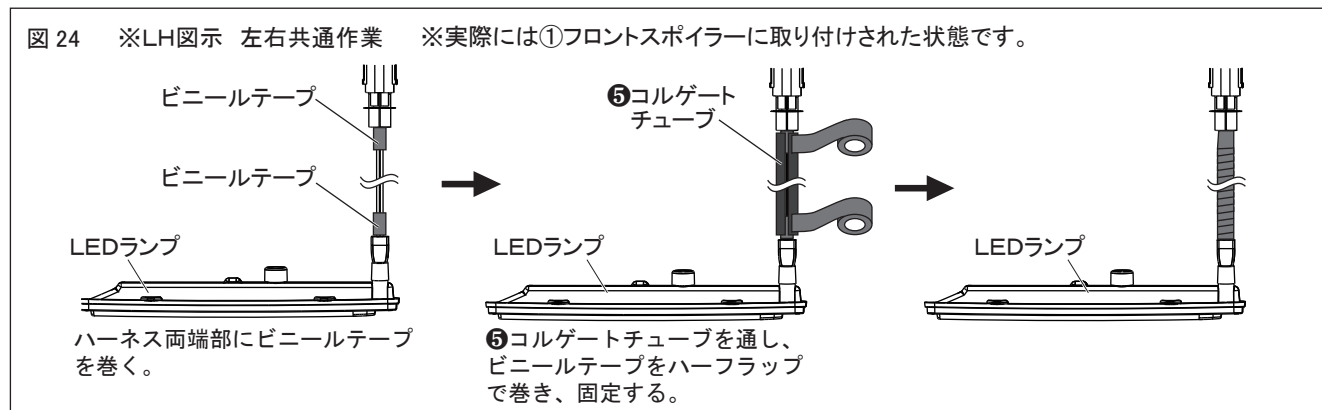
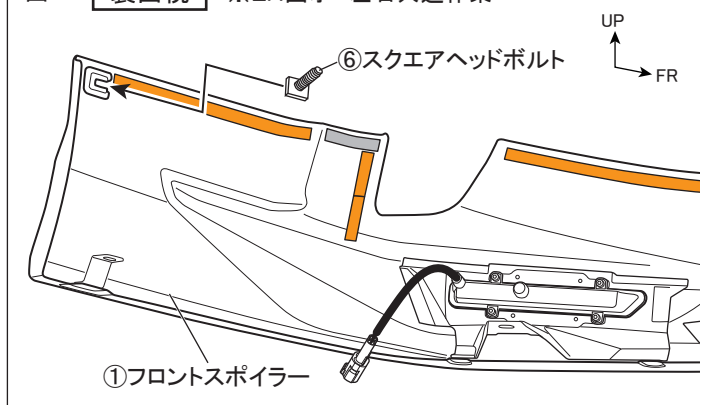
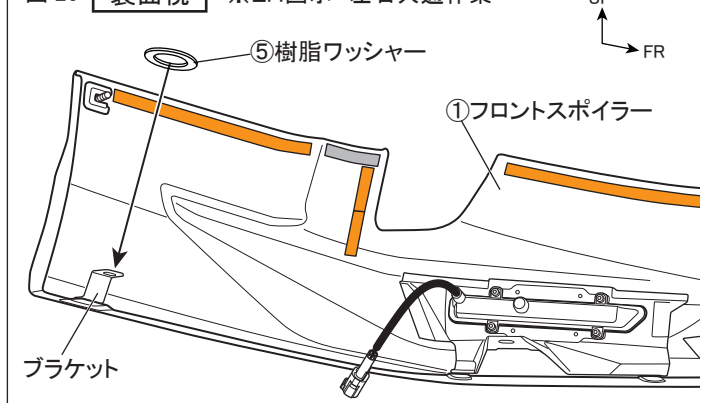


図 25 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



2. 図 25 のように①フロントスポイラー裏面に⑥スクエアヘッドボルトを取り付ける。
(左右各1箇所)

図 26 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



3. 図 26 のように①フロントスポイラーのブラケット上面をイソプロピルアルコール (IPA) で脱脂し、⑤樹脂ワッシャーを貼り付ける。
(左右各1箇所)

△ 注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉 アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

4. 図 27 のようにロアグリルの⑨型紙の製品端末位置および、フロントバンパー側面の⑨型紙Bのモール高さ位置に合わせて⑫シム (左右各1箇所) を図示部に挟みながら①フロントスポイラーをあてる。
下面を車両スクリュー (左右各2箇所)、③クリップA (左右各1箇所)、④クリップB (左右各1箇所)、側面をフロントバンパー内側から⑦クリップナット (左右各1箇所) で仮締めし、養生テープで仮固定する。

図 27 ※LH図示 左右共通作業

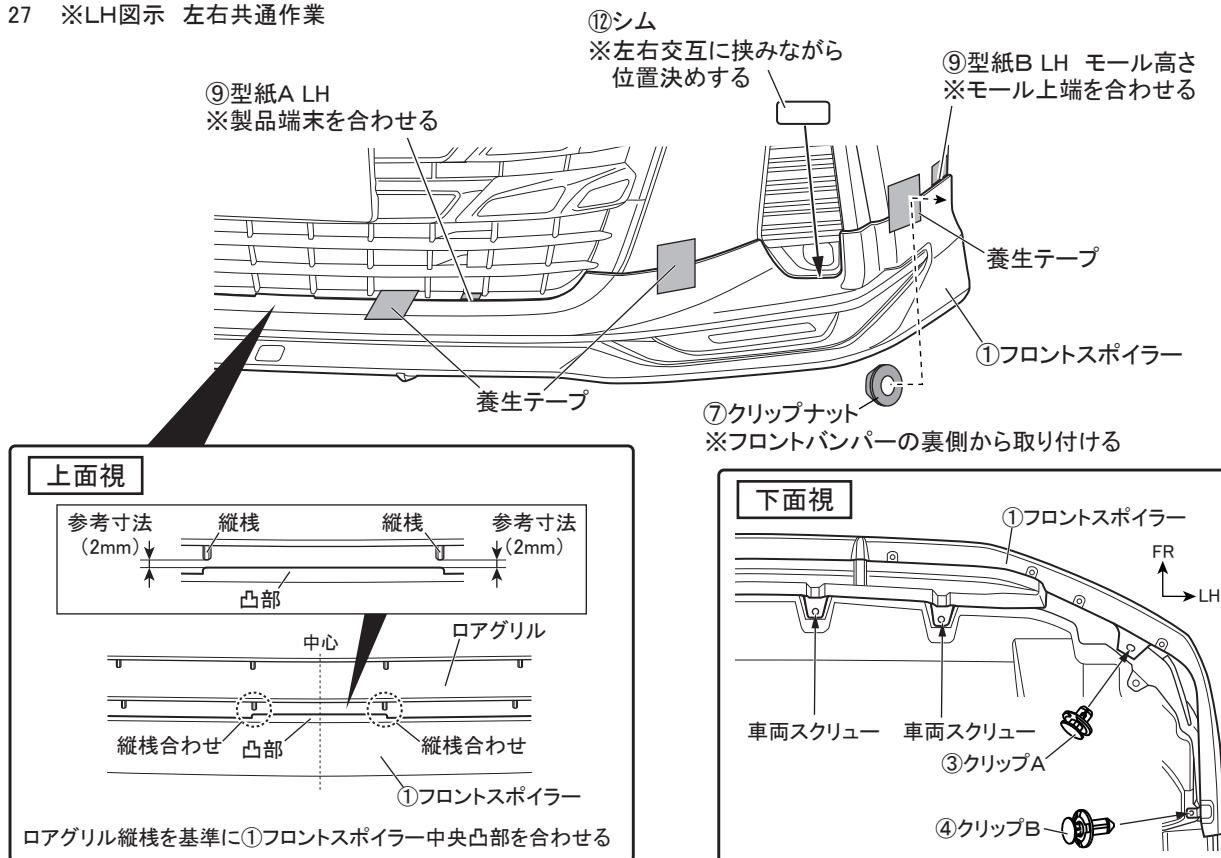
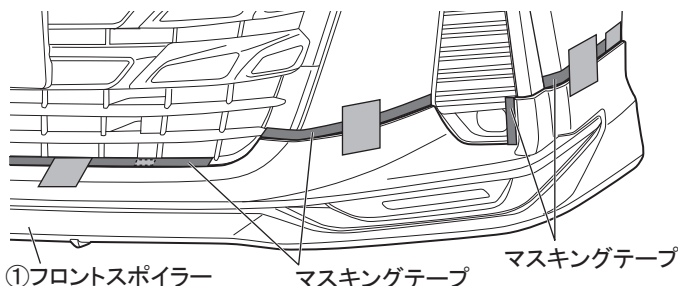


図 28 ※LH図示 左右共通作業

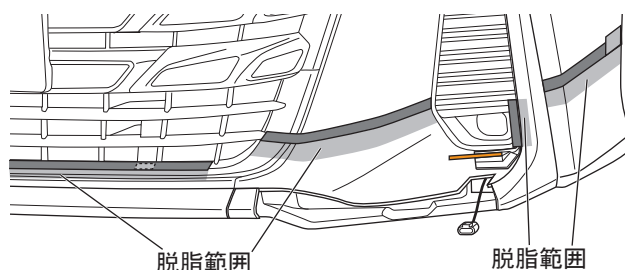


5. 図 28 のように①フロントスポイラー上端（モール貼り付け部はモール上端）に合わせてフロントバンパーにマスキングテープを貼り付ける。

△ 注意：PACプライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確な位置出し、マスキングを行ってください。

6. ①フロントスポイラーを取り外す。

図 29 ※LH図示 左右共通作業

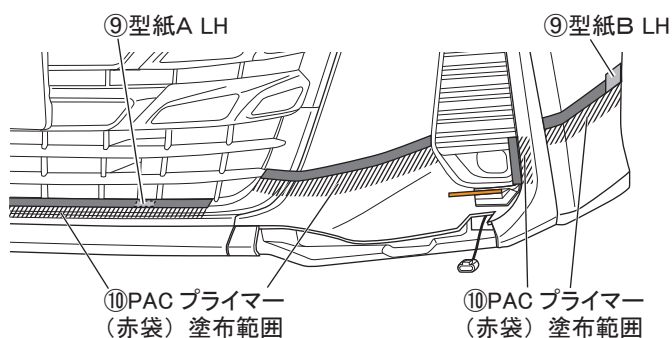


7. 図 29 のように①フロントスポイラーの両面テープ貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂する。

△ 注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉 アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

図 30 ※LH図示 左右共通作業



8. 図 30 のように①フロントスポイラーの両面テープ貼り付け部（左図斜線部）に⑩PACプライマー（赤袋）を塗布する。

△ 注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール（IPA）で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

9. マスキングテープを剥がす。
※⑨型紙A、Bは剥がさないでください。

10. 図 31 のように①フロントスポイラー裏面の②リテーナーの両面テープ貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂する。（左右各1箇所）

△ 注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉 アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

図 31 裏面視 ※LH図示 左右共通作業

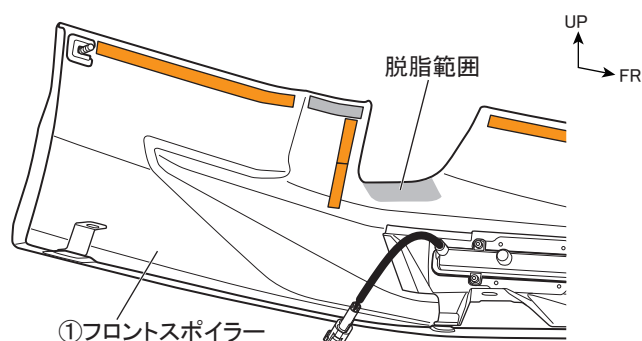
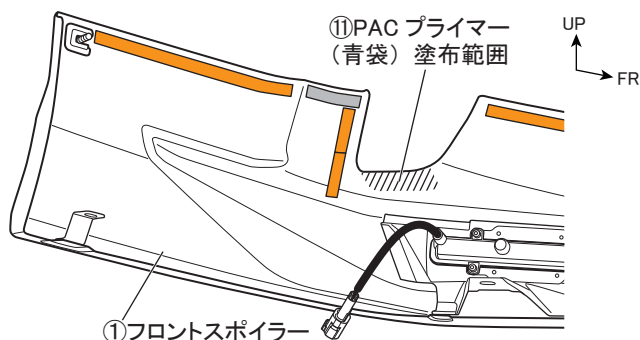


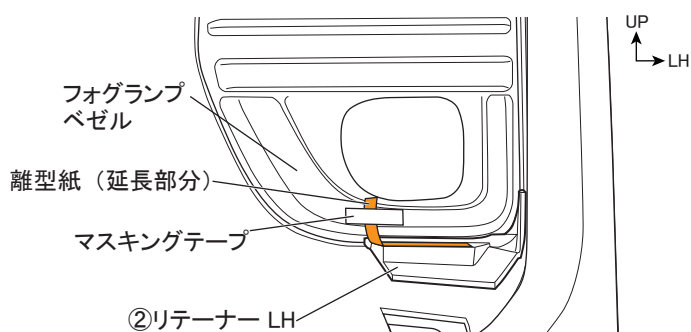
図 32 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



11. 図 32 のように①フロントスポイラー裏面の②リテーナーの両面テープ貼り付け部（左図斜線部）に①PACプライマー（青袋）を塗布する。（左右各1箇所）

⚠ 注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール（IPA）で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

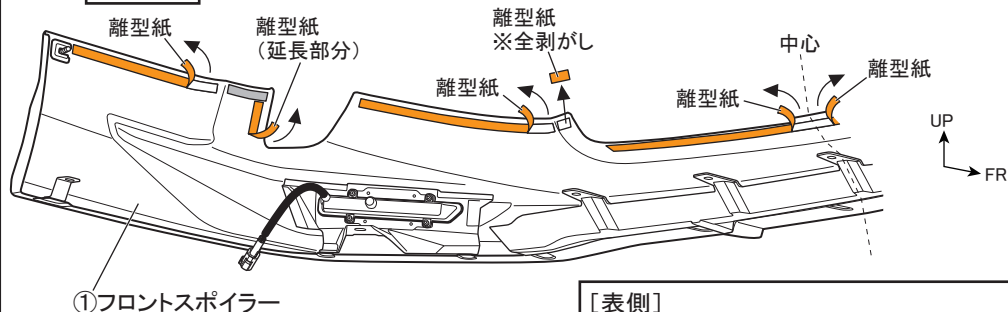
図 33 ※LH図示 左右共通作業



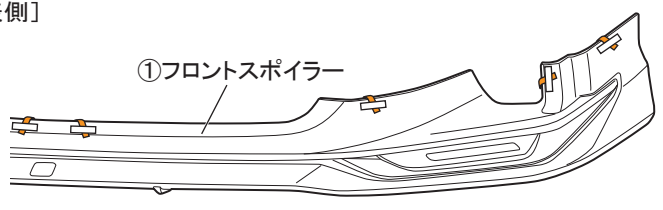
12. 図 33 のように②リテーナーの両面テープの離型紙（延長部分）を上方に剥がしてマスキングテープ等でフォグランプベゼルに貼り付ける。（左右各1箇所）

13. 図 34 のように①フロントスポイラー裏側の両面テープの離型紙を矢印の方向に約30mm 剥がしてマスキングテープ等で表側に貼り付ける。（左右各4箇所、全剥がし左右各1箇所）

図 34 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



[表側]



14. 図 35 のように①フロントスポイラーのLEDハーネスコネクタをフロントバンパーの前面加工穴から内側に入れ、ロアグリルの⑨型紙の製品端末位置および、フロントバンパー側面の⑨型紙Bのモール高さ位置に合わせて⑫シム（左右各1箇所）を図示部に挟みながら①フロントスポイラーをあてる。
下面を車両スクリュー（左右各2箇所）、③クリップA（左右各1箇所）、④クリップB（左右各1箇所）、側面をフロントバンパー内側から⑦クリップナット（左右各1箇所）で仮締める。

図 35 ※LH図示 左右共通作業

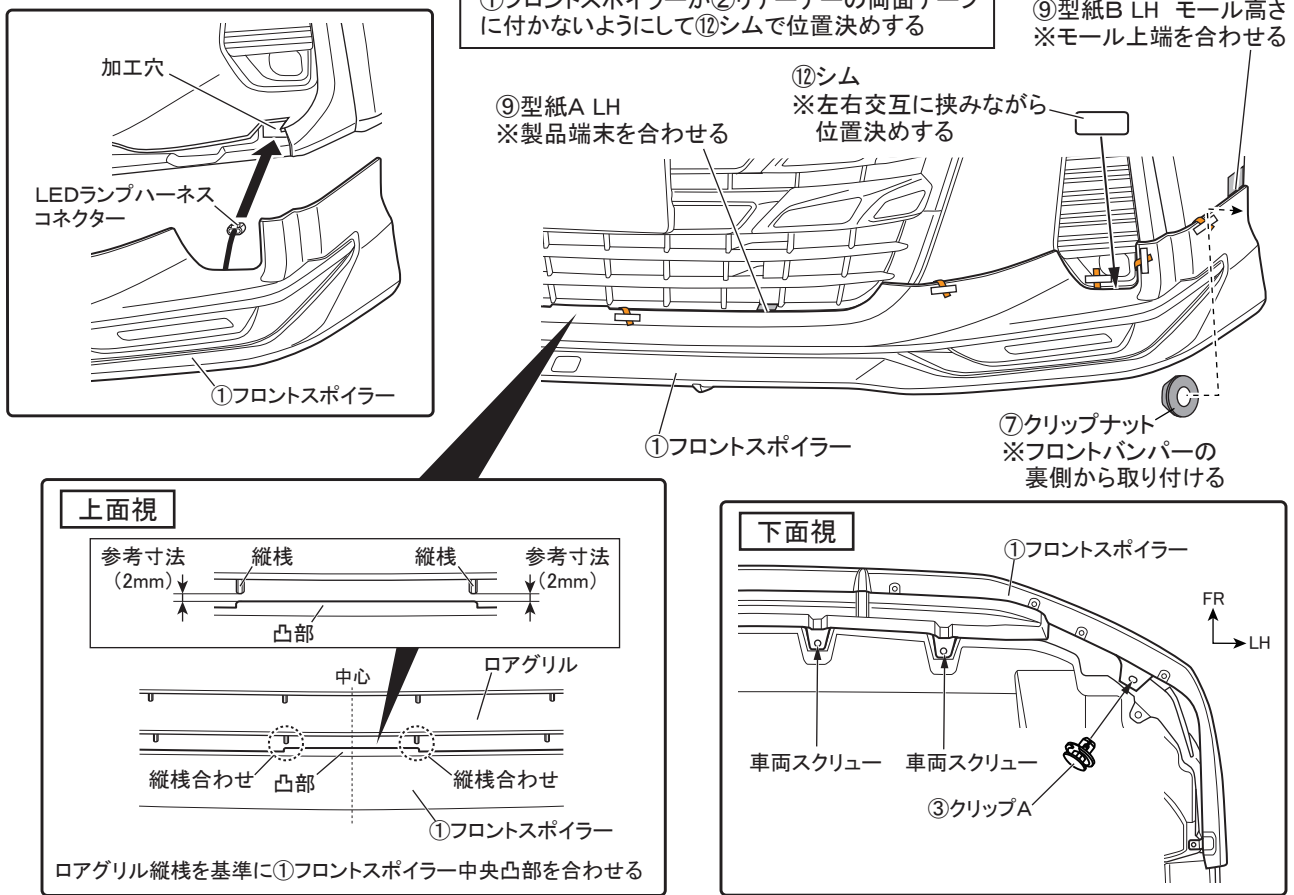
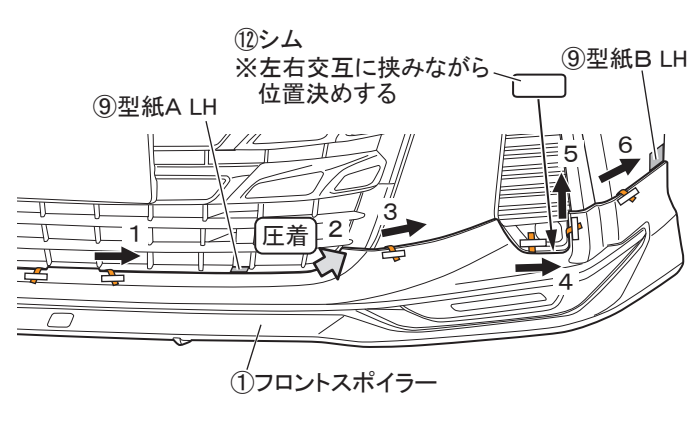


図 36 ※LH図示 左右共通作業



15. 図 36 のように⑫シム（左右各1箇所）を図示部に挟み、取り付け位置を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼り付け圧着する。（左右各5箇所）

⚠ 注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生するおそれがあります。

16. 車両スクリュー（左右各2箇所）、⑦クリップナット（左右各1箇所）を本締める。



アドバイス

両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。
製品の取付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、掛からないようにオープントタイム（静止時間）お取りください。



警告

両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。
両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。



17. 図 37 のようにホイールハウス部フロントフェンダーライナーをずらして手を入れ、①フロントスポイラーのLEDランプハーネスコネクターと②ハーネスBのコネクターを接続し、フロントバンパー裏側の図示部に④結束バンドで固定する。(左右各1箇所)

図 37 裏面視 ※LH図示 左右共通作業

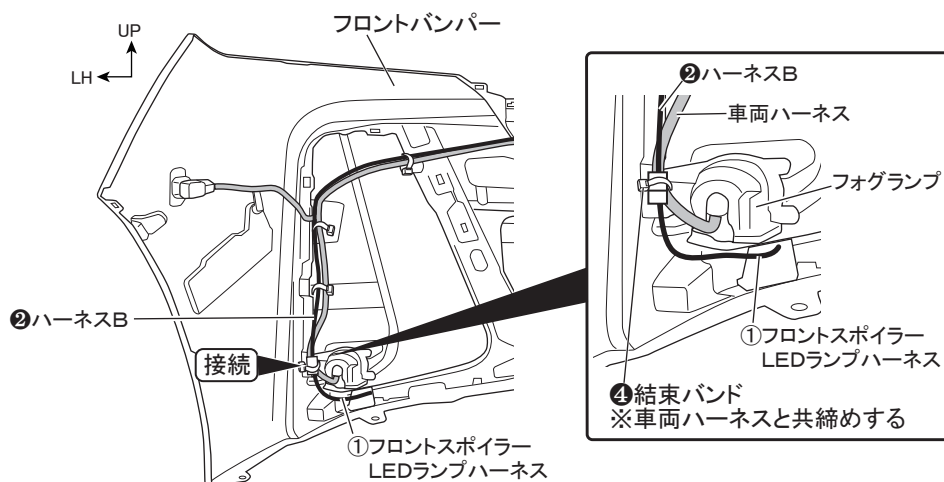
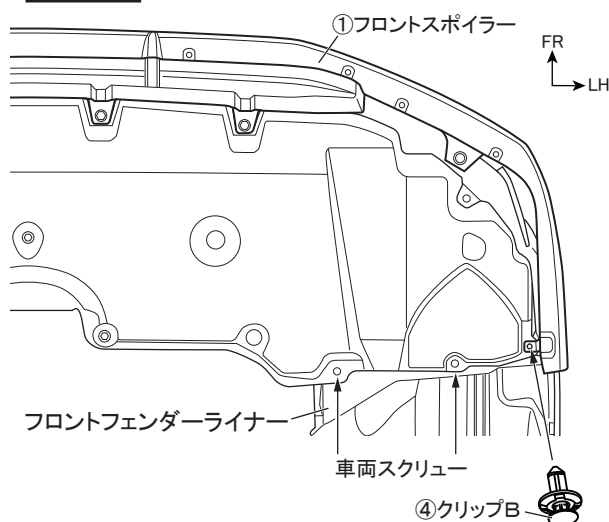


図 38 下面視 ※LH図示 左右共通作業



18. 図 38 のように①フロントスポイラー下面ブラケット部に④クリップBを取り付け(左右各1箇所)、インナーフェンダー下面を車両スクリュー(左右各2箇所)で固定する。

19. ⑨型紙A、Bを剥がす。(左右各2箇所)

20. バッテリーのマイナス端子を取り付け、各システムの動作確認を行う。

■LEDランプ取り付け後の確認・注意事項

- ・ハーネスに無理な力が掛かっていないか、噛み込みや鋭利なエッジに干渉が無いことを確認する。
- ・イグニッション ON の状態にしてLEDランプの点灯確認を行う。

■取付完了後の点検・注意事項

1. 製品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
2. 車両及びフロントスポイラー廻りに傷が付いていないことを確認する。
3. 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

⚠ 重要

分解・脱着した部位以外でも、周辺部位に触れて、ラジエータキャップの緩みや周辺部品の変形などが発生することがあります。作業後は必ず、確認を行ってください。

■ 未塗装品の取扱いについて

下記は未塗装品（MS341-58040-NP）の塗装前、塗装後の作業を記載しています。
下記要領に従い作業を行ってください。

△注意：本製品は下地処理として、製品表面の面出しまで実施してあります。塗装前の下地処理として、足付け、脱脂、プライマーサフェーサー塗装は販売店様にて実施してください。

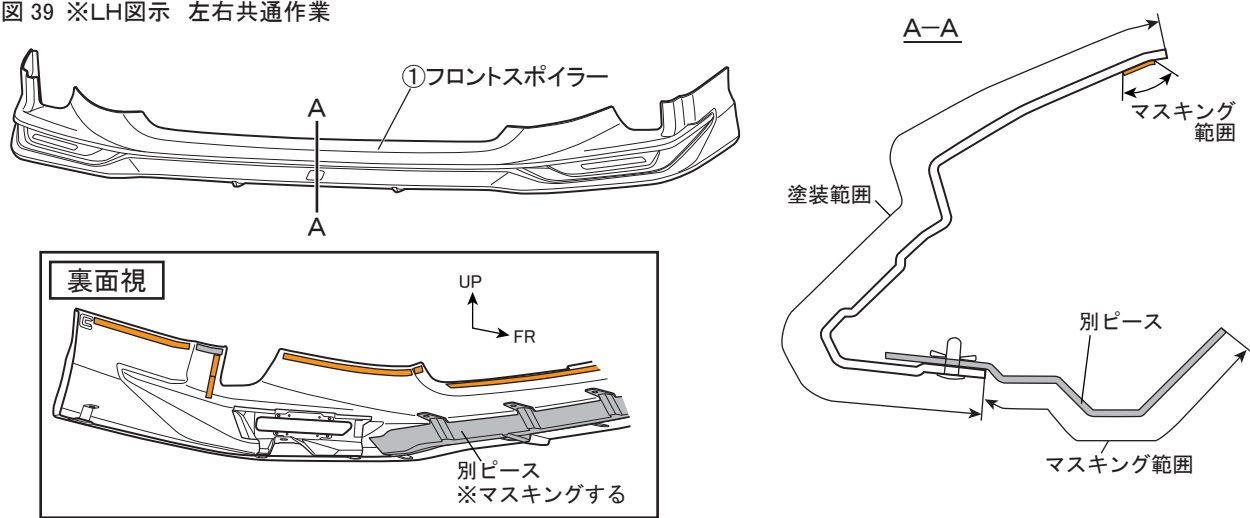
△注意：プライマーは非導電性のものをご使用ください。

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

□ フロントスポイラーの塗装

1. 図 39 のように①フロントスポイラーを車両色で塗装する。

図 39 ※LH図示 左右共通作業

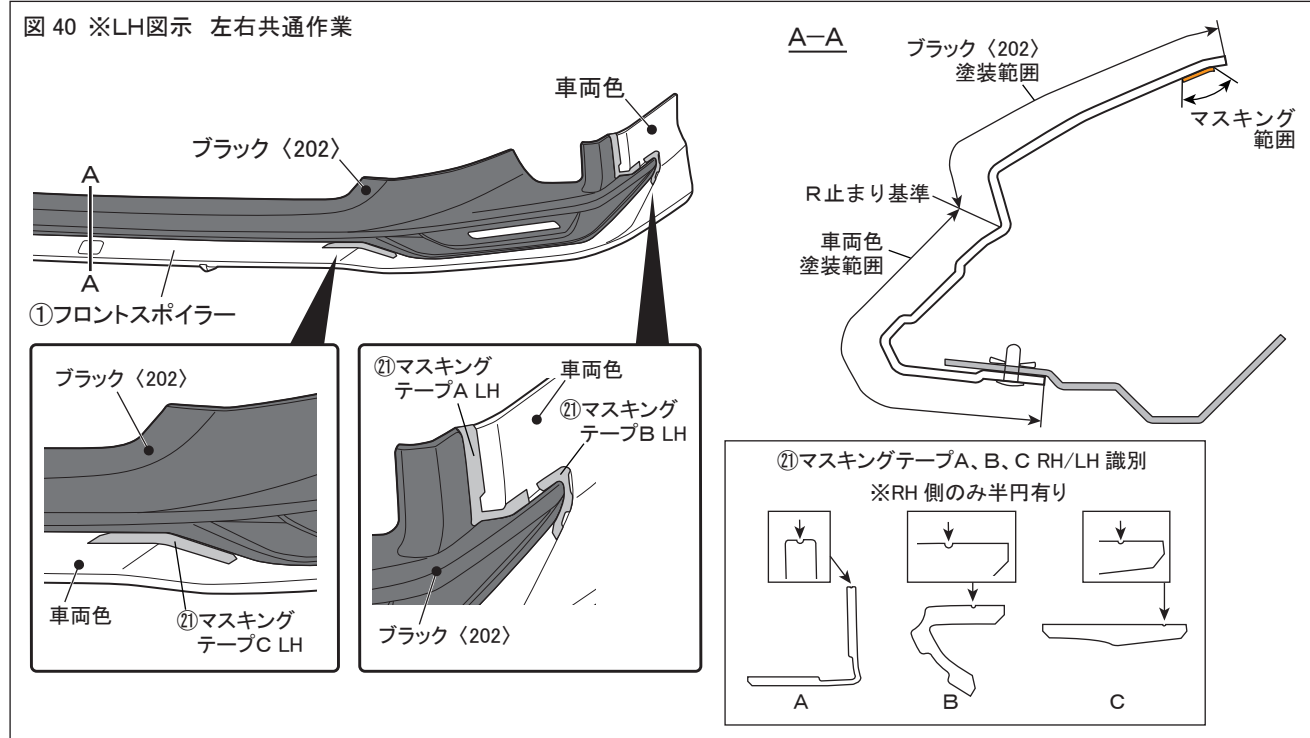


△警告：両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。
マスキングテープを貼るなどして対応してください。

△注意：乾燥温度を 70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

2. 図 40 のように①フロントスポイラーに②①マスキングテープA、B、Cを貼り付け、ブラック〈202〉で塗装する。
※車両色がブラック〈202〉の場合は、本作業は必要ありません。

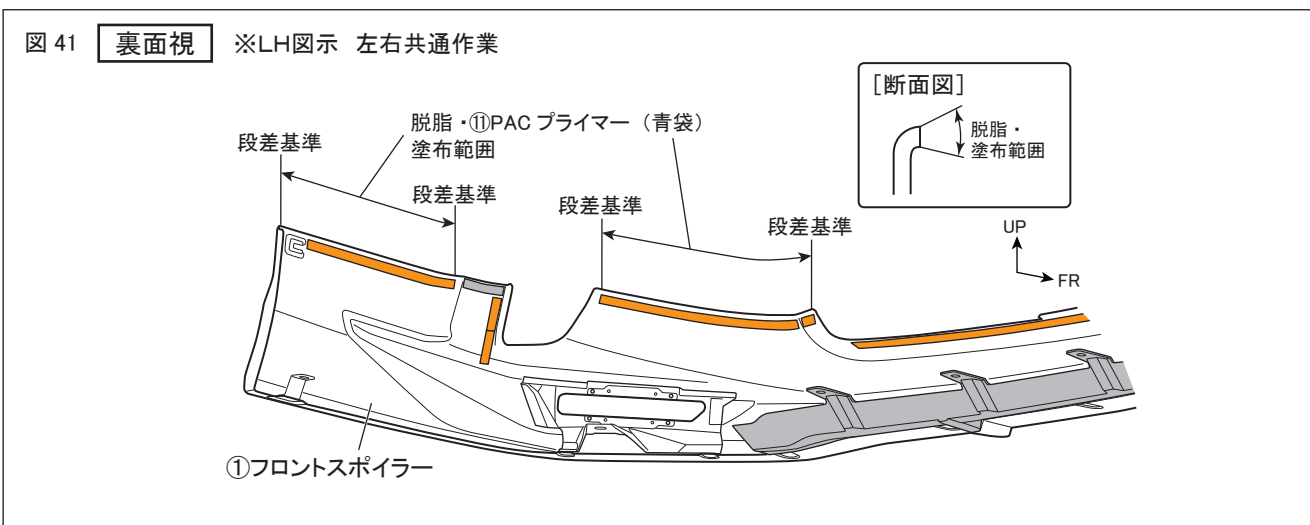
図 40 ※LH図示 左右共通作業



□ モールの貼り付け

1. 図 41 のように①①モール貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂し、モール貼り付け部のみ①①PAC プライマー（青袋）を塗布する。

図 41 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



👉 アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

⚠ 注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

⚠ 注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール（IPA）で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

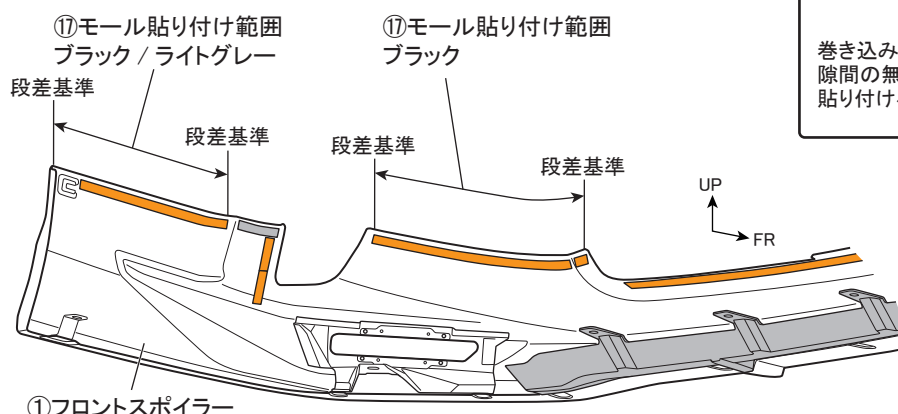
⚠ 注意：①①PAC プライマー（青袋）は本製品取り付け時に再使用します。揮発性が高いので速やかに袋に戻し、揮発を抑えてください。

⚠ 注意：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

2. 図 42 のように①⑦モールの両面テープの離型紙を剥がしながら、貼り付け圧着する。

①⑦モールは長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落とす。

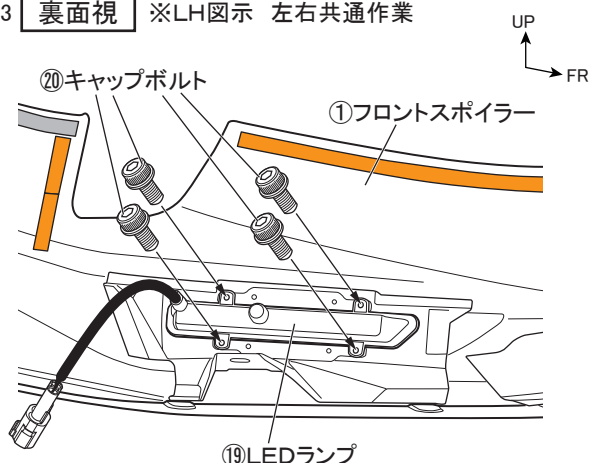
図 42 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



□LEDランプの取り付け

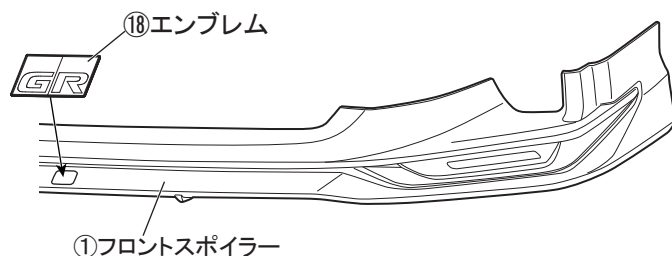
1. 図 43 のように①フロントスポイラー裏面に①⑨LEDランプ（左右各1箇所）を②⑩キャップボルト（左右各4箇所）で固定する。

図 43 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



□エンブレムの貼り付け

図 44



1. 図 44 のように①フロントスポイラー中央凹部の座面をイソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂し、①⑧エンブレムを貼り付け圧着する。

△ 注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

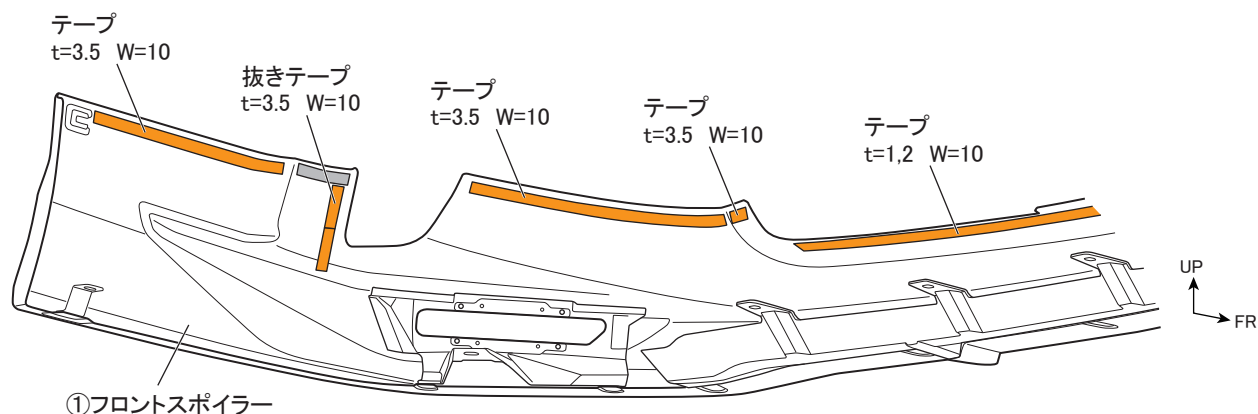
👉 アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

■ 補修キット両面テープ貼り付け

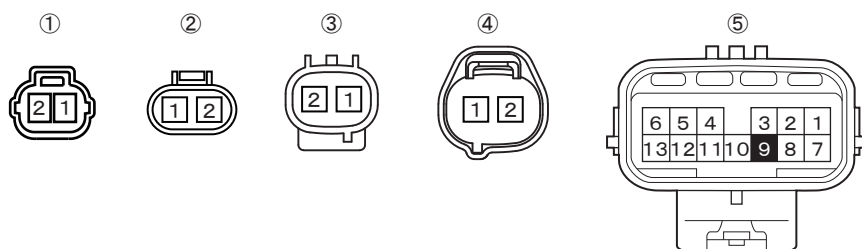
1. 補修キットを使用して①フロントスポイラーの再取り付けを行なう際は、下図を参考に抜きテープ、両面テープを選択し貼り付ける。

※両面テープを貼り付ける際は、貼り付け部を脱脂し、プライマー（PAC プライマー K-500 相当）を塗布する。

裏面視 ※LH図示 左右共通作業



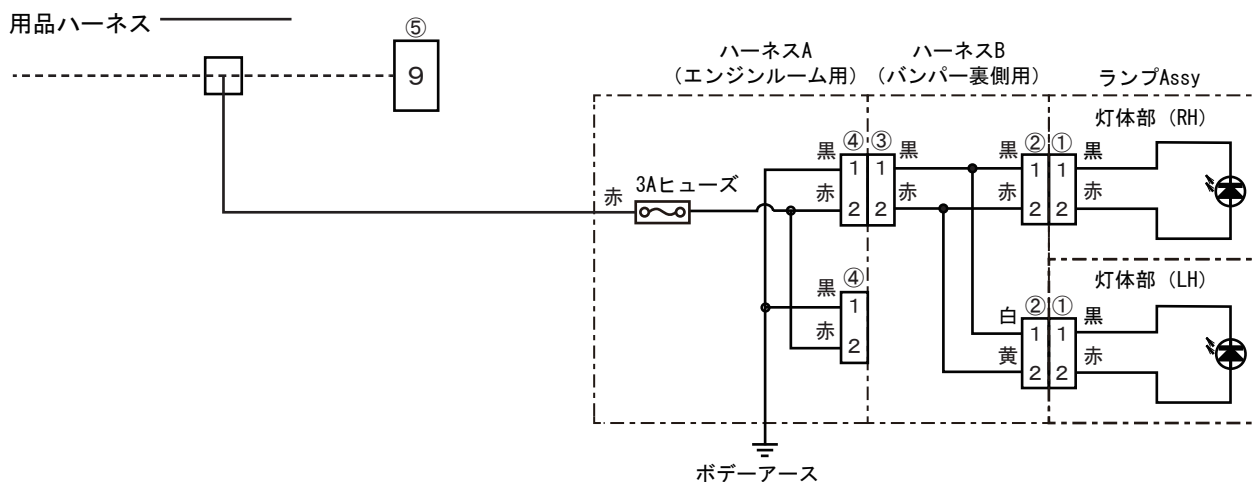
配線図



※上記コネクタ略図は、コネクタ接続側を示しております。

車両ハーネス -----

用品ハーネス —————



株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント

TRD 商品問い合わせ窓口

TEL:050-3161-2121

<https://www.trdparts.jp/>

脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のQRコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

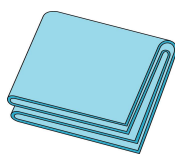


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
- ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
- ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



合成セーム皮



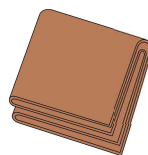
脱脂剤用
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用
ウエス



WET 用
ウエス



イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。



アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■ 脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。



水拭き用バケツ



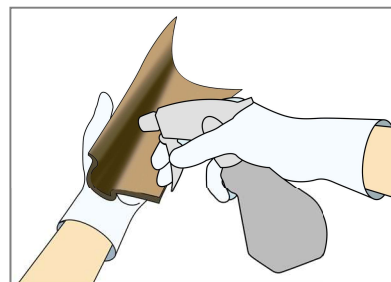
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

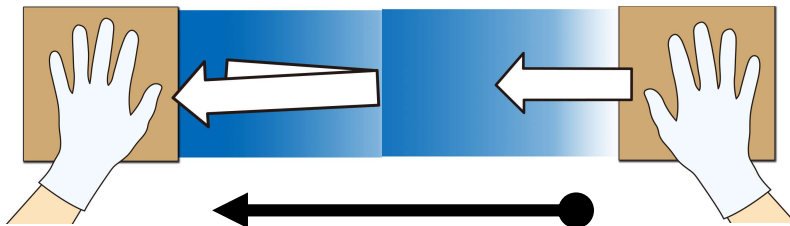
脱脂剤を含ませたウエスで

1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に

拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち

WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

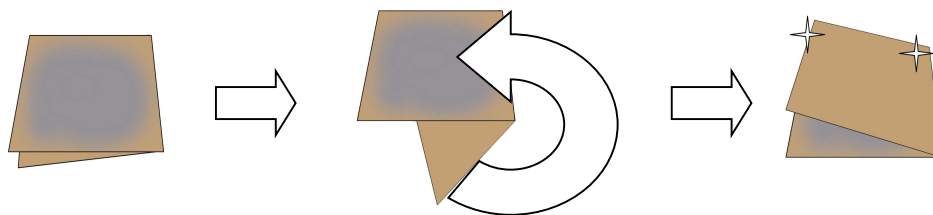
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3～5 ブロック 毎にウエス表面を折り返しウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。



汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際にウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。

パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書にしたがって行ってください。